

公益財団法人 日本サッカー協会
2019年度 第11回理事会

報告事項

1. AFC理事会（12月1日開催）の件

AFC理事会が12月1日（日）、香港で開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。

- ・2027年以降のAFCアジアカップに関し、AFC理事会がホストを決定することを承認。
- ・FIFAクラブワールドカップ2021中国におけるAFCからの出場枠を3.5枠とすることにつき、FIFAカOUNシルに付議することで合意。
- ・2022FIFAワールドカップカタールアジア2次予選に関し、2020年9月から「Week of Football」コンセプトを導入し、インターナショナルマッチデー中に2試合行う場合は休息日を4日間設け、1試合の場合は月曜日または火曜日をマッチデーとすることを決定。
- ・AFC年間最優秀選手賞について、今後は同賞の審査にあたってアニュアルアワードへの出席については受賞要件としないことを決定。
- ・AFCアニュアルアワード2020はカタールで開催することを決定。
- ・第30回AFC総会は2020年4月16日（木）にマレーシア・クアラルンプールで開催することを決定。

2. EAFF理事会（12月2日開催）の件

EAFF理事会が12月2日（月）、香港で開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。

- ・EAFFを代表するAFC理事の候補者として、グアムサッカー協会のValentino San Gil会長が無投票で選出。
- ・EAFF E-1サッカー選手権2019決勝大会の選手登録締切を以下の通りとすることを承認。
中国 2019年12月3日
日本 2019年12月7日

3. 役員を選任及び会長の選定に関する件

(1) 会長として求められる資質の設定について

会長予定者選出管理委員会（選出管理委員会）において「役員を選任及び会長等の選定に関する規程」第7条第3項の規定に基づき、会長として求められる資質が以下の通り設定された。

資質	概要
構想力	大局的見地に立ったビジョンを描く力、論理的に語り伝える力
関係構築力	ステークホルダーを巻き込む人間性、影響力、サッカー界をひとつにまとめる力、寛容性、包容力
実行力	成果を生み出すための決断力、変化に対応する力、変革力
組織統率力	リーダーシップ、構想を形にする力、チーム組合力

(2) 今後の手続き

① 会長への立候補（立候補届の提出）

- ・立候補希望者は、**12月26日（木）まで**に立候補届を提出する（同規程第8条第1項）。
- ・立候補届の提出は、選出管理委員会の事務局に持参するか郵便で送る。**郵送の場合、立**

候補の締切日となる 12 月 26 日(木)の消印があるものを有効とする（同規程第 8 条第 5 項）。

（報告）資料 1①（立候補届）

② 推薦書の提出

- ・立候補希望者は、評議員または理事から計 7 名以上の推薦を得なければならない。立候補者は立候補届に推薦書（及び活動書類）を付して提出する（同規程第 8 条第 2 項）。
- ・推薦書は 12 月 22 日(日)の臨時評議員会において、出席した評議員及び理事一人につき一通ずつ配付される。欠席した評議員及び理事には、郵送にて同日付配達指定で送付される。指定様式以外の書式を用いた推薦は全て無効となる（同規程第 8 条第 3 項）。
- ・推薦書には、被推薦者（立候補者）の氏名(1 名に限る)、推薦者の氏名及び推薦者の所属する団体（推薦者が評議員の場合）を記載し、推薦者が署名する（同規程第 8 条第 4 項）。

(3) 立候補者に関する選出管理委員会の業務及び手続き

- ① 選出管理委員会は、同規程第 8 条に定める形式要件を満たしていると確認された立候補者のリストを公表する（同規程第 9 条第 1 項）。
- ② 選出管理委員会は、同規程第 4 条の要件を満たしているかについての要件審査を行う（同規程第 9 条第 2 項）。
- ③ 選出管理委員会は、上記②の要件審査を経た会長候補者のリストを作成し、2020 年 1 月 16 日(木)に予定されている理事会に報告する（同規程第 9 条第 3 項）。
- ⑤ 選出管理委員会は、各立候補者を推薦した評議員及びその人数に関する情報を公表しない（同規程第 9 条第 4 項）。

(4) 会長候補者説明会（同規程第 10 条）

- ① 日 時：2020 年 1 月 11 日(土) 13:00～（予定）
- ② 会 場：JFA ハウス
- ③ 出席者：評議員、理事、監事、会長予定者選出管理委員
- ④ 説明会の様子はライブでの配信を予定

(5) 活動書類（会長予定者の選出に関するガイドライン）

- ① 会長候補者は、選挙活動期間において、以下の項目に限定された内容で活動書類を作成する。
 - ・提案する政策
 - ・提案するプログラム
 - ・過去の記録
 - ・過去の職歴
 - ・その他本人に関する情報
- ② 活動書類の写しは、立候補届に付して選出管理委員会に提出しなければならない。

（報告）資料 1②（活動書類）

(6) 理事会による推挙

- ① 理事会は、会長に相応しい人物を理事による投票によって選出し、会長候補者（会長被推挙者）として評議員会に対して推挙することができる（同規程第 11 条第 1 項）。
- ② 上記①に定める投票は、郵送による。各理事には 1 月 6 日(月)までに投票用紙が配布さ

れ、1月理事会の前日（1月15日（水）/必着）までに、本協会事務局に送付する（同規程第11条第2項）。

- ③ 投票は1人の理事につき1票の無記名投票（同規程第11条第3項）。
- ④ 選出管理委員会は、1月理事会の日（1月16日）に、理事会に先立ち、開票を行う（同規程第11条第4項）。
- ⑤ 選出管理委員会は、1票以上の票を得た得票者の全員について、速やかに要件審査を行う（同規程第11条第5項）。
- ⑥ 選出管理委員会は、1票以上の票を得た得票者のうち、上記⑤の要件審査の結果、要件を満たさないと判断された者を除く得票者を1月理事会に報告する（同規程第11条第6項）。

4. 2019年度新規1級審判員認定の件

審判委員会で新規1級審判員の認定審査を実施し、次の3名を1級審判員として認定した。

- ① 宗像 瞭（むなかた りょう） 北海道 23歳
- ② 梅田 智起（うめだ ともゆき） 関東/埼玉県 29歳
- ③ 山下 良美（やました よしみ） 関東/東京都 33歳

※ 上記は地域・都道府県順。年齢は2019年12月12日現在。

5. 指導者ライセンス認定の件

指導者に関する規則第4条「ライセンスの認定」に基づき2018年度S級コーチ養成講習会を修了し、本協会技術委員会が適格と認めた下記1名についてS級コーチライセンスを認定した。

氏名：氏家 英行（うじいえ ひでゆき）

所属：群馬県サッカー協会

生年月日：1979年2月23日

資格：2014年A級コーチジェネラルライセンス取得

指導歴：2011年～2013年 tonan 前橋プレイングマネージャー コーチ兼選手

2013年～2014年 tonan 前橋 監督代行

2015年～2016年 ザスパクサツ群馬 トップチームヘッドコーチ

2016年～2016年7月 ザスパクサツ群馬 トップチームヘッドコーチ

2016年7月～2017年 ザスパクサツ群馬 ジェネラルマネージャー補佐

（強化副部長）

2017年～ 群馬県サッカー協会 理事・技術強化担当

※ 2018年度S級コーチ認定者数：18名/20名中（上記1名含む）2019年11月27日現在

※ 現S級コーチライセンス保持者数：497名（上記1名含む）

6. ナショナルコーチングスタッフ選任の件

（報告）資料 2

32回オリンピック競技大会（2020/東京）に出場するナショナルコーチングスタッフを以下の通り選任する。

ナショナルコーチングスタッフ

U-23 日本代表コーチ

栗原 克志（くりはら かつし）

※プロフィールは別添資料の通り。

12 月中は、現在所属するアルビレックス新潟がパートタイムで派遣し、U-22 日本代表 国際親善試合（12 月 24 日～28 日/長崎）に参加。その後、2020 年 1 月 1 日からナショナルコーチングスタッフとして活動する。

7. 社会貢献委員会の件

（報告）資料 3

社会貢献委員会の実施状況を資料の通り報告する。

8. 大会役員 国際試合への派遣の件

AFC U-23 選手権タイ 2020

派遣期間：2020 年 1 月 3 日（金）～1 月 16 日（木）

担当会場：ソクラー

メディアオフィサー：倉田 研太郎

9. JFA Youth & Development Programme (JYD) 新規パートナーとの契約締結の件

JFA Youth & Development Programme (JYD) 及びコンサルティング領域において、以下の通り、新規パートナーシップ契約を締結した。

1) デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社

設立：2001 年 6 月

事業内容：ファイナンシャルアドバイザーファーム

本社所在地：東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号

契約内容：JYD サポーター／コンサルティングパートナー（ガバナンス・ビジネス領域）

2) 株式会社日本総合研究所

創立：1969 年 2 月

事業内容：シンクタンク、コンサルティング、IT ソリューション

本社所在地：東京都品川区東五反田 2 丁目 18 番 1 号

契約内容：JYD サポーター／コンサルティングパートナー（施設整備推進領域）

（備考）JYD の協賛企業は、以下の現行 8 社から、上記 2 社が加わり 10 社になった。

- ・アイリスオーヤマ株式会社（JYD オフィシャルパートナー）
- ・トヨタ自動車株式会社（JYD オフィシャルパートナー）
- ・ニチバン株式会社（JYD オフィシャルパートナー）
- ・株式会社明治（JYD オフィシャルパートナー）
- ・株式会社モルテン（JYD オフィシャルパートナー）
- ・キリンビバレッジ株式会社（JYD テクニカルパートナー）
- ・東亜道路工業株式会社（JYD グリーンプロジェクトパートナー）

・株式会社フジタ（JYD グリーンプロジェクトパートナー）

10. JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ申請（新規）の件

申請者（施設所有者）：福島市

施設名：福島市十六沼公園サッカー場 C（福島県福島市大笹生字廻板山地内）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ XPM-55

公認期間：2019年12月12日～2022年12月11日

公認番号：第238号

申請者（施設所有者）：公益社団法人福岡県サッカー協会

施設名：福岡フットボールセンターDピッチ（福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭1-2-16）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ EW-55

公認期間：2019年12月12日～2022年12月11日

公認番号：第239号

<特記事項>

使用製品は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。
当該施設は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

11. JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ申請（更新）の件

申請者（施設所有者）：花巻市

施設名：花巻市スポーツキャンプむらメインコート（岩手県花巻市太田第11地割363番地1）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ XXP-62

公認期間：2019年12月19日～2021年12月18日

公認番号：第152号

申請者（施設所有者）：旭川市

施設名：東光スポーツ公園 A球技場（北海道旭川市東光23～24条8丁目）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MV2040 ACS65

公認期間：2019年12月19日～2021年12月18日

公認番号：第153号

申請者（施設所有者）：旭川市

施設名：東光スポーツ公園 B球技場（北海道旭川市東光23～24条8丁目）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MV2040 ACS65

公認期間：2019年12月19日～2021年12月18日

公認番号：第154号

<特記事項>

使用製品は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。

当該施設は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

12. 審判インストラクター・審判員の海外派遣の件

審判インストラクター・審判員の国際試合・セミナー等への派遣は次の通り。

<インストラクター>

（セミナー）

①AFC Refereeing Conference 2019

開催期間：11月26日～27日

場所：マレーシア/クアラルンプール

インストラクター：石山昇、上川徹、岡田正義、深野悦子、山岸佐知子

<審判員>

（大会・試合）

①FIFA U-17 World Cup Brazil 2019

派遣日程：10月18日～11月13日

場所：ブラジル

審判員：木村博之

②AFC U-19 Women's Championship Thailand 2019

派遣日程：10月23日～11月5日

場所：タイ/チョンブリ

審判員：梶山美紗子

③Intercontinental Beach Soccer Cup 2019

派遣日程：11月4日～11月10日

場所：UAE/ドバイ

審判員：波多野祐一

④AFC U-19 Championship 2020 Qualifiers Group B

派遣日程：11月3日～11月11日

場所：カタール/ドーハ

審判員：荒木友輔、平間亮

⑤AFC U-19 Championship 2020 Qualifiers Group D

派遣日程：11月3日～11月11日

場所：イラン/テヘラン

審判員：東城穰

⑥AFC U-19 Championship 2020 Qualifiers Group E

派遣日程：11月3日～11月11日

場所：バーレーン/マナマ

審判員：岡部拓人、野村修

⑦FIFA World Cup Qatar2022 - Preliminary Competition Asian Zone

Round 2 - Group D - Uzbekistan vs Saudi Arabia

試合日：11月14日

場所：ウズベキスタン/タシケント

審判員：佐藤隆治、山内宏志、三原純、山本雄大

⑧FIFA World Cup Qatar2022 – Preliminary Competition Asian Zone

Round 2 – Group G – Vietnam vs UAE

試合日：11月14日

場所：ベトナム/ハノイ

審判員：飯田淳平、八木あかね、唐紙学志、荒木友輔

⑨FIFA World Cup Qatar2022 – Preliminary Competition Asian Zone

Round 2 – Group D – Yemen vs Singapore

試合日：11月19日

場所：バーレーン/ムハッラク

審判員：東城穰、聳城巧、平間亮、岡部拓人

⑩AFC Women’s Club Championship 2019– FIFA/AFC Pilot Tournament

派遣日程：11月23日～12月1日

場所：韓国/仁川

審判員：山下良美、手代木直美

(セミナー)

①AFC Refereeing Conference 2019

派遣日程：11月25日～11月29日

場所：マレーシア/クアラルンプール

審判員：荒木友輔、飯田淳平、木村博之、佐藤隆治、東城穰、山本雄大、平間亮、唐紙学志、三原純、西橋勲、越智新次、野村修、聳城巧、山内宏志、武部陽介、梶山芙紗子、坊菌真琴、萩尾麻衣子

13. 2019年度新規女子1級審判員認定の件

審判委員会で新規女子1級審判員の認定審査を実施し、次の4名を女子1級審判員として認定した。

- ① 渡邊 杏紗 (わたなべ あずさ) 東北地域/宮城県 29歳
- ② 谷本 菜々子 (たにもと ななこ) 中国地域/岡山県 20歳
- ③ 荒木 裕里香 (あらき ゆりか) 中国地域/広島県 22歳
- ④ 善福 梨央 (ぜんぷく りお) 九州地域/鹿児島県 25歳

※ 上記は地域・都道府県順。年齢は2019年12月12日現在。

14. 第10回JFA国際ショナルコーチングコース2019の件

(報告) 資料 4①②

第10回JFA国際ショナルコーチングコース2019を開催された。

テーマ：エリートユース育成

内容：講義、実技、ディスカッション、JFAアカデミー福島トレーニング視察、

U-14/U-13 ナショナルトレセン視察、U-18 プリンスリーグ視察、ACL2019 決勝視察

期間・場所： 11月20日～24日 @静岡県／時之栖

(集合：11月19日成田空港。解散11月25日成田空港)

プログラム： 添付別紙の通り

参加者： AFC加盟協会にてエリートユース育成ダイレクターまたはエリートユース育成指導者
(20協会から28名が参加) 添付別紙の通り

15. JFA・Fリーグ特別指定選手認定・解除の件

(報告) 資料 5

JFA・Fリーグ特別指定選手を資料の通り、認定・解除した。

16. JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー認定の件

下記の団体を「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー」に認定した。()内は賛同テーマ

1. 新規

認定日：2019年10月29日

(1) 一般社団法人東京23スポーツクラブ (引退なし、障がい者サッカー、社会課題への取り組み)

認定日：2019年11月1日

(1) ローヴァーズ木更津FC (引退なし、障がい者サッカー、女子サッカー、施設の確保、社会課題への取り組み)

認定日：2019年11月25日

(1) 八幡JSC (補欠ゼロ)

(2) FC VALOR (補欠ゼロ、障がい者サッカー、社会課題への取り組み)

以上の結果、現在の状況は次の通り。

- ・ 2019年4月以降の新規認定団体数 : 29団体
- ・ 2019年3月までの認定団体で認定を行った団体数 : 117団体

2019年度 認定団体数 : 146団体 (11月25日現在)

「引退なし」 : 90団体

「補欠ゼロ」 : 108団体

「障がい者サッカー」 : 78団体

「女子サッカー」 : 55団体

「施設の確保」 : 29団体

「社会課題への取り組み」 : 55団体

17. 海外遠征申請の件

(1) 公益財団法人 茨城県サッカー協会

チー ム 鹿島アントラーズユース (第2種)

遠征期間 12月12日～12月16日

- 遠征先 タイ/バンコク
- (2) 公益財団法人 茨城県サッカー協会
 チーム 鹿島アントラーズスクール選抜 (第4種)
 遠征期間 2020年1月29日～2月7日
 遠征先 中国/南寧
- (3) 公益財団法人 埼玉県サッカー協会
 チーム 浦和レッドダイヤモンズユース (第2種)
 遠征期間 2020年1月17日～1月27日
 遠征先 UAE/アブダビ
- (4) 公益財団法人 東京都サッカー協会
 チーム S.T. Football Club (第3種)
 遠征期間 12月31日～2020年1月8日
 遠征先 スペイン/バルセロナ
- (5) 一般社団法人 神奈川県サッカー協会
 チーム TEAM CLIO U12 (CFG 横浜) (第4種)
 遠征期間 2020年1月30日～2月7日
 遠征先 スペイン/バルセロナ
- (6) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
 チーム 清水FCジュニアユース (第3種)
 遠征期間 2020年3月22日～3月27日
 遠征先 チャイニーズタイペイ/屏東
- (7) 公益財団法人 愛知県サッカー協会
 チーム 名古屋グランパス (第1種)
 遠征期間 2020年1月21日～1月29日
 遠征先 タイ/パタヤ
- (8) 公益財団法人 愛知県サッカー協会
 チーム 中京大学附属中京高校 (第2種)
 遠征期間 12月26日～12月30日
 遠征先 韓国/蔚山
- (9) 公益財団法人 愛知県サッカー協会
 チーム 刈谷JY (第3種)
 遠征期間 12月31日～2020年1月8日
 遠征先 スペイン/バルセロナ
- (10) 一般社団法人 大阪府サッカー協会
 チーム セレッソ大阪U-13選抜 (第3種)
 遠征期間 12月12日～12月25日
 遠征先 マレーシア/ガンバン
- (11) 一般社団法人 大阪府サッカー協会
 チーム セレッソ大阪 (第1種)
 遠征期間 2020年1月23日～2月2日

遠征先 タイ/バンコク

(12) 一般社団法人 兵庫県サッカー協会

チーム 神戸フットボールクラブジュニアユース (第3種)

遠征期間 12月25日～12月30日

遠征先 韓国/蔚山

(13) 一般社団法人 兵庫県サッカー協会

チーム S.C. Internacional Japan (第3種)

遠征期間 12月25日～12月29日

遠征先 韓国/蔚山

(14) 一般社団法人 兵庫県サッカー協会

チーム 兵庫県選抜U-13 (第3種)

遠征期間 12月26日～12月30日

遠征先 タイ/パタナ

(15) 一般社団法人 山口県サッカー協会

チーム セイザンFC U-15 (第3種)

遠征期間 12月25日～12月30日

遠征先 韓国/蔚山広域市

(16) 一般社団法人 鹿児島県サッカー協会

チーム 鹿児島高校 (第2種)

遠征期間 12月25日～12月29日

遠征先 韓国/蔚山

(17) 一般社団法人 鹿児島県サッカー協会

チーム 鹿児島城西高校 (第2種)

遠征期間 12月25日～12月30日

遠征先 韓国/蔚山

【事後報告】

以下の遠征は、事前申請されていなかった為、事後申請分として報告致します。

(1) 公益社団法人 滋賀県サッカー協会

チーム 滋賀県U-14トレセン (第3種)

遠征期間 11月24日～12月1日

遠征先 中国/長沙

(2) 一般社団法人 京都府サッカー協会

チーム 京都サンガF.C. U-12 SPF (第4種)

遠征期間 12月9日～12月18日

遠征先 スペイン/バルセロナ

18. 名義使用申請の件

(1) 申請団体：国立大学法人筑波大学

行事名称：シンポジウム「サッカー×アート」

場所：筑波大学付属高校桐蔭会館（東京都文京区）

開催日：2020年1月26日

主催：筑波大学芸術系

後援：公益財団法人日本サッカー協会、茗友サッカークラブ、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本スポーツ芸術協会、日本ヤタガラス協会、特定非営利活動法人サロン2002

目的：芸術と体育を専攻する研究・教育組織のある大学として、オリンピックを学術的に捉え直すアートとスポーツを融合したシンポジウムを開催する。

内容：日本サッカー協会のシンボルである三本足のカラスは、大日本蹴球協会（現：日本サッカー協会）の初代理事長で、東京高等師範学校・東京文理科大学（現：筑波大学）教授の内野台嶺氏と、東京美術学校（現：東京藝術大学）を卒業した彫刻家の日名子実三氏が発案した。東京藝術大学の美術学部長で日本サッカー協会社会貢献委員長の日比野克彦氏による「サッカーとアート」と題する基調講演等により、サッカーとアートのコラボレーションの歴史を振り返る。

(2) 申請団体：株式会社 LDH JAPAN

行事名称：EXILE CUP 2020

場所：9地域全国12都市

開催日：2020年6月1日～2020年9月30日

目的：同フットサル大会を通して12歳以下年代でのサッカー・フットサルの普及に貢献する。

内容：小学4年～6年生を対象としたフットサル大会。9地域12会場で予選大会を行い、各予選大会優勝チーム（関東・関西・九州は2枠）による決勝大会を愛媛県今治市で開催。決勝大会の出場チームがヨーロッパに遠征する。

同大会は、EXILEが2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会に出場する日本代表の応援ソング「VICTORY」を制作したことをきっかけに創設され、2020年大会で11回目を迎える。第1回大会からJFAで後援している。過去の大会参加者が、年代別日本代表に選出される等、サッカー・フットサルの発展に一定の成果を挙げている。株式会社LDH JAPANは、この事業を社会貢献活動として実施。大会アドバイザーとして岡田武史 JFA シニア・アドバイザーが就任している。

19 標章使用の件

(1) 申請者：国立大学法人筑波大学

内容：シンポジウム「サッカー×アート 日本サッカーのシンボルをめぐって」ポスターへ標章を使用。